

公益社団法人 埼玉県理学療法士会 平成 27 年度定時総会議事録

1. 開催日時：平成 27 年 6 月 21 日(日) 11:40~13:30
2. 開催場所：文京学院大学ふじみ野キャンパス講堂
3. 理事・監事の数及び出席理事監事の数
  - (1) 理事数：15 名、監事：2 名
  - (2) 出席理事数：12 名、出席監事数：2 名
4. 司会：解良武士
5. 開会の辞：岡持利亘
6. 会長挨拶：清宮清美
7. 定足数報告(会員数及び出席会員数)
  - (1) 会員総数：3,728 名(6 月 1 日現在)
  - (2) 出席会員数：2,613 名(参加：114 名、議決権行使書：2,499 名)
8. 議決事項
  - (1) 第 1 号議案  
平成 26 年度事業・決算報告、貸借対照表、損益計算書、財産目録の承認を求める件  
平成 26 年度監査報告
  - (2) 第 2 号議案  
平成 27 年度事業計画並びに予算案の承認を求める件
  - (3) 第 3 号議案  
定款変更を求める件
  - (4) 第 4 号議案  
理事・監事選任の件
9. 議長団選出の経過
  - (1) 定款に定めた定足数の出席があったことを司会者：解良武士氏が報告した後、議長・副議長の選出につき一同に諮ったところ、フロアより執行部一任の提案がなされ、議長・副議長が選任された。  
議長：中野克己氏(埼玉県総合リハビリテーションセンター)  
副議長：山田隆介氏(新座病院)
  - (2) 議長により書記が選任された。  
書記：米澤隆介氏(北里大学メディカルセンター)  
茄子川知浩氏(益子病院)
10. 議事の詳細
  - (1) 第 1 号議案 平成 26 年度事業・決算報告、貸借対照表、損益計算書、財産目録の承認を求める件  
《平成 26 年度事業・決算報告》
    - ① 会長より総括が報告され、各部局についての詳細も会長より報告された。  
平成 26 年度は公益事業として地域リハビリテーション研修会やリハビリテーション関係三団体で行う協力事業を実施したこと、間接的公益事業として理学療法のスキルアップのための研修活動を

実施し新卒会員における新人教育プログラム修了率の向上を目指すこと、共益事業として職能局を窓口にして埼玉県理学療法連盟や関係他団体との事業協力を行ったことが報告された。

② 会長より事務局、財務局、事業局、学術局、教育局、広報局、職能局、東部ブロック、西部ブロック、南部ブロック、北部ブロックについて報告された。財務局では会計システムの導入について報告があった。

③ 会長より各委員会に関して事業報告がなされた。

財政基盤検討委員会、表彰委員会、組織検討委員会、第23回埼玉県理学療法学会準備委員会、第24回埼玉県理学療法学会準備委員会、第49回日本理学療法士協会全国学術研修大会準備委員会、ブロック連絡委員会、埼玉県理学療法学会評議員会、訪問リハビリテーション振興委員会、がんリハビリテーション推進委員会について報告があった。

#### 《平成26年度決算》

総会資料に基づき、財務局長より平成26年度の決算として収入および支出が報告された。

公益社団法人となり県からの指導により比較正味財産増減計算書の書式に変更があったことが説明された。収入において受取入会金や雑収入について説明がなされたうえで経常収益計の報告がなされた。支出において埼玉県地域リハビリテーション研修会準備費、理学療法週間推進活動費、理学療法士教育事業、第25回埼玉県理学療法学会費、第49回日本理学療法士協会全国学術研修大会準備費、備品修理費について説明がなされたうえで経常費用計の報告がなされた。当期経常増減額の報告がなされた。また、貸貸対照表、正味財産増減計算書、および財産目録について説明がなされた。

#### 《平成26年度監査報告》

議長が本件に関し、監事に説明報告を求め、田尻和行氏より平成26年度監査結果が報告された。

決算報告書や帳票等について、財産は適正に管理・運営されていたこと、公益法人として事業は順調に執行されていたことが報告された。

#### 《第1号議案についての質疑応答》

① 会員より、「平成26年度は公益法人として単年度で黒字収益となったが、その最大要因は何か」という質問があり、会長より公益化による埼玉県理学療法士会の知名度向上や、地域リハビリテーションに係る埼玉県からの事業委託などの要因が考えられると回答がなされた。

② 会員より、「未徴収会費の経年動向を知りたい」という質問があり、財務局長より2年間会費未納者の強制退会や年度毎に督促状を送付するなどして対応していると回答がなされた。

第1号議案 平成26年度事業・決算報告、貸借対照表、損益計算書、財産目録の承認を求める件及び、平成26年度監査報告に関して挙手にて承認の是非を諮り、過半数(3,728名中、1,865名)の賛成を得た。議決権行使書を含めた出席者2,606名の賛成が得られたため定款第19条1項に基づき総会員数の過半数の賛成を得たため、第1号議案は可決された。

(2) 第2号議案 平成27年度事業計画並びに予算案の承認を求める件

- ① 総会資料に基づき、解良副会長より各局、部、ブロックの事業計画案の説明がなされた。  
事務局、財務局、事業局、学術局、教育局、広報局、職能局、東部ブロック、西部ブロック、南部ブロック、北部ブロックについて説明された。財務局では会計システムを導入すること、広報局では理学療法週間に一般県民を対象とした理学療法フェスタを開催すること、職能局では新たに地域包括ケアシステム推進部を設けることが報告された。また、各ブロックでは多数の研修会や交流会が企画されていることが報告された。
- ② 総会資料に基づき、望月副会長より各委員会の事業計画案の説明がなされた。  
財政基盤検討委員会、表彰審査委員会、組織検討委員会、第24回埼玉県理学療法学会準備委員会、ブロック連絡委員会、埼玉県理学療法学会評議委員会、訪問リハビリテーション推進振興委員会、選挙管理委員会、がんリハビリテーション推進委員会について説明された。
- ③ 総会資料に基づき、財務局長より平成27年度予算案について説明がなされた。  
収入に関して、会費収入と事業収入について説明がなされた。また、埼玉県地域リハビリテーション研修会開催費、インターネット作成管理費、訪問リハビリテーション振興事業費、理学療法事業推進に関する活動費、医療保険制度に関する活動費、地域包括ケアシステムに関する活動費について説明がなされた。また、特定預金支出と予備費について説明がなされた。

《第2号議案に関する質疑応答》

- ① 会員より、「平成27年度事業計画における執行部としての重点課題は何か」という質問があり、会長より、予定されたすべての議案の決議が終了後に説明する旨が伝えられた。

第2号議案 平成27年度事業計画並びに予算案の承認を求める件に関して挙手にて承認の是非を諮り、過半数(3,728名中、1,865名)の賛成を得た。議決権行使書を含めた出席者2,605名の賛成が得られたため定款第19条1項に基づき総会員数の過半数の賛成を得たため、第2号議案は可決承認された。

(3) 第3号議案 定款変更を求める件

会長より定款変更についての趣旨説明がなされた。

《第3号議案に関する質疑応答》

なし

第3号議案 定款変更を求める件に関して挙手にて承認の是非を諮り、3分の2以上(3,728名中、2,486名)の賛成を得た。議決権行使書を含めた出席者2,604名の賛成が得られたため定款第19条2項に基づき総会員数の3分の2以上の賛成を得たため、第3号議案は可決承認された。

(4) 第4号議案 理事・監事選任の件

理事・監事選任の件について、工藤選挙管理委員長より説明がなされた。会長1名と理事11名の立候補と、理事会より監事2名と理事3名の推薦があったことが報告された。また、定款第22条の規定によ

る立候補者、推薦者はいずれも定数内であり全員無投票当選となることが報告された。新役員の候補者は以下の通りである。

<会長>

清宮清美（埼玉県総合リハビリテーションセンター）

<理事>

原 和彦（埼玉県立大学）

河合麻美（さいまた赤十字病院）

細井俊希（埼玉医科大学）

南本浩之（春日部厚生病院）

望月 久（文京学院大学）

水田宗達（埼玉県総合リハビリテーションセンター）

本宮光信（川越リハビリテーション病院）

原嶋 創（介護老人保健施設プルミエール）

野田 剛（豊岡第一病院）

桑原慶太（北里大学メディカルセンター）

横山浩康（熊谷総合病院）

岡持利亘（霞ヶ関南病院）

矢野秀典（目白大学）

渡邊雅恵（さいまた市立病院）

<監事>

田尻和行（リハビリテーション天草病院）

前園 徹（上尾中央医科グループ協議会）

《第4号議案に関する質疑応答》

なし

第4号議案 理事・監事選任の件に関して候補者ごとに挙手にて承認の是非を諮り、全ての候補者について出席した総正会員及び総名誉会員の過半数（114名中、57名）の賛成を得たため、定款第19条3項に基づき第4号議案は可決承認された。

一時、総会を中断し、新執行部は定款第23条3項に基づき臨時理事会を開催し、平成27・28年度の新組織について検討された。新会長は清宮清美氏が就任することが報告された。清宮新会長より新組織が紹介され、新副会長には原和彦氏、望月久氏、岡持利亘氏、渡邊雅恵氏の4名が就任することが報告された。

(5) その他

- ① 岡持副会長より埼玉県地域リハビリテーション支援体制整備事業の報告と、推進リーダー取得手順について説明がなされた。
- ② 会員からの「平成27年度事業計画における執行部としての重点課題は何か」という質問に対して、

会長より、執行部としては日本理学療法士協会の提示する平成 27 年度重点課題に沿って考えているが、地域包括ケアシステムの推進、組織率向上を目的とした離職者への対策、災害時対策の整備などに関しても重点課題として考えていることが説明された。

- ③ 会員より、「現在、各部局から事業計画ならびに予算があげられ、それを理事会で承認する形がとられているが、重点課題への配分や部局間の協同を考え、執行部からトップダウン的な計画がなされてもいいのではないか。それにより県士会として進むべき方針が明確化し、会員から県士会活動が理解されやすくなるのではないか」という意見があり、会長より検討する旨回答がなされた。
- ④ 会員より、「会員が増加し地域包括ケアシステムの構築も進むなか、現在のエリア区分での活動で十分といえるのか。今後、行政への対応や県士会活動の啓蒙を含めて市町村単位での活動も必要になるのではないか」という意見があり、会長より課題として捉えている旨回答がなされた。

以上をもって、議長は本会議のすべての議案が終了した旨を告げ、書記・議長・副議長を解任した。

#### 11. 閉会の辞：望月久


本会議の議事内容を明確にするために本会議事録を作成し、本会議の内容を証明するため議長および代表理事は以下に署名捺印を行う。

以上

平成 27 年 6 月 21 日

公益社団法人 埼玉県理学療法士会 平成 27 年度定時総会

議長

中野克己 

代表理事

清宮清美 